

国立大学法人 奈良女子大学

記念館一般公開

旧奈良女子高等師範学校本館 《重要文化財》



平成21年11月1日(日)～7日(土)

午前9時～午後4時 《入場無料》

特別展示

「奈良女子大学百年の歩み」

記念講演

「奈良の近代と

奈良女子大学の建築」

11月5日(木)午後1時30分～午後2時30分

奈良女子大学 生活環境学部教授 増井正哉



庶務係



庶務係



奈良女子高等師範学校(現奈良女子大学)は、明治41年3月に設置され、42年5月から授業を開始した。校舎の工事は、41年2月の本館の着工にはじまり、42年10月には主要な建物が完成した。現在残る旧本館(現奈良女子大学記念)及び守衛室はこの時の建物である。

工事は、文部省建築課が行い、京都帝国大学建築部長で奈良出張所長心得の山本治兵衛が実務の中心的役割をはたした。

旧本館はキャンパス中央南寄りであって東面して建ち、旧本館の真向かいに正門、その横に守衛室が建つ。

旧本館は木造二階建てで、外壁の一部をヨーロッパ北部に見られるハーフティンバー形式とし、正面中央に車寄せのある玄関を持つ。屋根は椽瓦葺で中央に塔屋が付き、正背面に各二箇所、両側面に各一箇所のドーマー窓を設けている。

一階は中廊下をはさんで左右に大小七室の部屋が並び、両端の階段から二階へ昇ると二階全体は講堂となっており、講堂には当時からの長椅子が今も残る。

講堂の天井は、中央部を二重に折上げ、小壁に化粧の窓を設け、中央からシャンデリアを吊り下げている。

奈良女子大学は、明治41年(1908年)3月31日に創設された奈良女子高等師範学校をその前身とし、明治42年(1909年)5月1日から授業が開始され、その日を開校記念日と定め、平成21年(2009)年5月1日創立百周年を迎えました。

100th Anniversary

The National University Corporation
Nara Women's University

特別展示

「奈良女子大学百年の歩み」

1階 各学部の歩み

文学部、理学部、生活環境学部

2階 校史関係資料

各センターの歩み

国際交流センター、社会連携センター、
共生科学研究センター、古代学学術研究センター、
アジア・ジェンダー文化学研究センター



記念講演

「奈良の近代と奈良女子大学の建築」

11月5日(木) 13:30~14:30

奈良女子大学 生活環境学部教授 増井 正哉

明治以降、奈良の町は、「奈良にふさわしい景観とは何か」を模索してきました。ここでは、奈良女子大学の建築を見学しながら、近代奈良の景観形成にどのように位置づけられるのかを考えてみます。



※詳細はホームページ(<http://www.nara-wu.ac.jp/>)でご確認ください。

交通

近鉄奈良駅より北へ徒歩約7分
JR奈良駅より市内循環バス
近鉄奈良駅下車
※お車での来学はご遠慮ください。

連絡先

奈良女子大学総務・企画課
〒630-8506 奈良市北魚屋東町
TEL.0742-20-3220
FAX.0742-20-3205



記念館ホームページ <http://koto.nara-wu.ac.jp/kinenkan/>

